

# リウマチ・膠原病だより

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

広島生活習慣病健診センター

医療法人(社団)ヤマナ会

東広島記念病院 広報誌

Vol. 2 No. 3

発行日 2009年 7月 21日

創刊日 2008年 4月 21日



## 理念

1. 私共は医道を尊び、規律を守り社会的責務にこたえます。
2. 私共は常に研鑽し信頼される病院を創ります。
3. 私共は安全な医療を提供出来る病院をめざします。

## 患者憲章

1. 尊厳を保つ医療を受ける権利を有します。
2. 納得出来る説明と情報を受ける権利を有します。
3. 十分な情報提供下で治療方針を選択する権利を有します。
4. 医療機関を自由に選択出来る権利を有します。



仙石庭園

## Contents

### ■リウマチ・膠原病情報

関節リウマチ治療について

東広島記念病院リウマチ・膠原病センター 古林 啓介

### ■部署紹介

薬剤部 土井 容子

### ■病院からのお知らせ

リウマチ患者調査について

教育講座について

# 関節リウマチ治療について



東広島記念病院  
リウマチ・膠原病センター  
古林 啓介

当院は関節リウマチや膠原病の専門病院として、広島県を中心に周辺の他県からも多数患者様が来院されています。今回は関節リウマチの病気について私見も交えながら、皆様の病気についての認識を新たにしていこうと考えています。

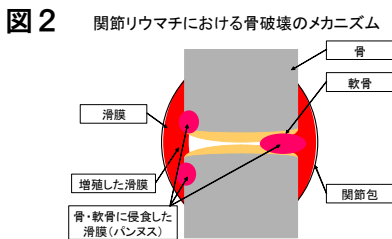
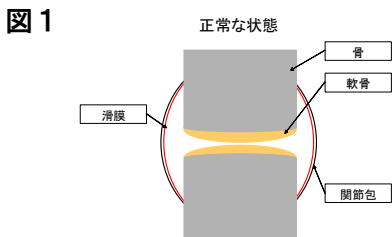
### Q、「リウマチは治りますか？」

先日外来診療をしているときに、ある患者様がこういわれました。“治る＝薬を使わないで健康な状態を維持できる”というイメージをお持ちでしたが、現在の最新医療をもってしてもなお薬剤が不要になることは非常に稀です。しかしメトトレキサート(リウマトレックス、メトレート、メトトレキサートも同様)が登場してから、関節リウマチの治療は劇的に変化しました。既存の抗リウマチ薬では成し得なかった、痛みもなく関節変形もないという状態(寛解)にすることは今では夢ではなくなっています。さらに関節内での炎症物質(サイトカイン)を選択的に抑制する抗体療法(生物学的製剤)も続々と誕生し、良い状態を維持できる患者様の数は増加してきています。

### A、「薬剤を使って健康に近い状態にすることは出来ます」

### Q、「関節が壊れないように治療できますか？」

まず関節が破壊されるメカニズムを見てみましょう。



正常な関節は図1のような構造をしています。関節包に裏打ちされている滑膜という膜があり、普段は関節の動きを滑らかな状態に保つ関節液を産生しています。関節リウマチは免疫の異常によりこの滑膜が異常増殖する病気です。図2で示すように増殖した滑膜は関節内に広がり、やがて骨や軟骨に侵入し関節構造を破壊します。これが関節破壊のメカニズムです。

骨や軟骨の破壊は関節の腫れや痛みが現れて6ヶ月ごろから始まるといわれています。つまり6ヶ月以内に滑膜の腫れを抑えることができないと、軟骨や骨に滑膜が侵入してしまいます。発症早期から抗リウマチ薬の使用が推奨される理由がそこにあります。しかし6ヶ月で寛解状態にもっていくためには、活動性に見合った薬剤を選択する必要があります。

図3

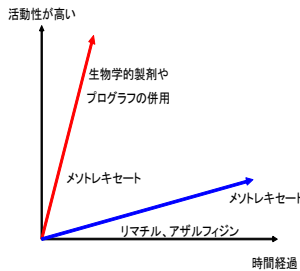


図4

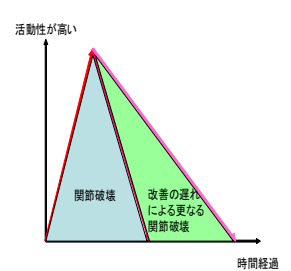


図3のように発症早期から活動性の高い方には、はじめからメトトレキサートを開始し、十分な効果がない場合には生物学的製剤やプログラフを併用します。また早期の活動性が低い方には、免疫を抑制しない抗リウマチ薬のリマチルやアザルフィジンなどを開始し、効果がない場合はメトトレキサートを併用または変更します。図4は治療によって改善するまで、どれだけ関節破壊が進んだかを面積で示しています。同じ活動性であったとしても、速やかに改善した方が関節破壊は少なく抑えることができます。

### A、「関節破壊が出てくる6ヶ月後までに、速やかにしっかり抑えられるかが重要です」

### Q、「副作用が心配です」

薬剤には必ず副作用があります。しかし副作用を恐れて治療を躊躇してしまうと、確実に関節破壊が進んでしまうことは確かです。薬剤の副作用は可逆性で、中止によって消失します。大切なことは副作用かどうかを早く判断することです。メトトレキサートを内服されている方で、これを飲むと咳や痰がよく出るから減らして飲んで、という場合があります。免疫抑制剤なので感染症の発生は増えるのですが、実は蓄膿症があったために起こっていた症状でした。蓄膿症の治療をしたところ、指示された量を飲んで咳も痰も出なくなりました。これは副作用ではなく蓄膿症の悪化が原因というわけです。

### A、「副作用は早期発見が大切。ちょっとおかしいと感じたら、自己判断で中止をせず受診をお願いします」

### 最後に

近年の関節リウマチ治療薬は目覚ましいものであり、これから発症する方にとっては怖い病気ではなくなっているように思えます。しかし、自己免疫疾患の病気は根本的治療が確立されていないのも現実で、薬剤不要な状態にはなれないという限界に歯がゆさも感じます。自己免疫を引き起こす細胞に特異的に作用し、異常な免疫だけを抑制できる、夢のような治療がこれから出てくることを切に願います。





## 部署紹介 薬剤部



### 関節リウマチの薬物療法

薬剤師 土井 容子

関節リウマチの治療の中心は薬物療法です。

患者様個々の状態に応じて、非ステロイド性消炎鎮痛剤・ステロイド・抗リウマチ薬(免疫調整薬・免疫抑制薬)・生物学的製剤等の薬物を組み合わせて処方されます。薬によっては、2～3ヶ月後くらいから効き目が出てくるものがありますから、効かないといって勝手にやめてはいけません。しかし、3～4ヶ月服用してもまったく症状が改善しない場合や、身体に異常を感じた場合は、主治医に相談して下さい。



薬には、副作用があります。発疹が出たり、胃痛がするなど、自分でも分かるものもあれば、血液検査、レントゲン等の検査によって発見される副作用もあります。長い間服用しているから大丈夫ということはありません。定期的に来院して、検査を受けるようにして下さい。特に抗リウマチ薬・生物学的製剤を使用している方は、微熱や軽い感冒症状であっても肺炎等にかかっていることもあります。日頃から、ご自分の状態を観察し、異常があれば診察を受けるようにして下さい。



長期にわたって薬と付き合っていかなければなりません。皆様が少しでも安心して治療に取り組んでいく手助けが出来たらと思っています。不安なことがあれば、いつでもご相談下さい。

## ☆病院からのお知らせ☆

### 関節リウマチで受診中の皆様へ

今年より当院に関節リウマチで受診中の患者様全員に定点調査を予定しています。この定点調査は皆様が日常生活でどのような不具合があるかを調査するものです。関節リウマチは慢性疾患であり、長期にわたる継続的な治療が必要です。その間にいろいろな薬剤を変更することや、関節手術を受けなければならないことも経験します。東広島記念病院に通院されている患者様の実情を調査し、現在までの治療薬と日常生活で何が出来て何が出来ないかを評価することは、より良いリウマチ診療を確立することにつながります。また今回の調査や毎月開催している患者様向けの教育講座を通じてリウマチ・膠原病の病態や治療について理解する機会になればと考えています。

今回の解析結果を皆様に報告するとともに、診療に役立てていこうと考えています。またこのような調査を今後毎年一回予定していますので皆様のご協力をお願いいたします

#### 教育講座

当院の医師とコメディカルによる患者様向けの教育講座を開催しています。ご自由にご参加ください。

日時: 7月21日(火) 13:00～13:45

8月19日(水) 13:00～13:45

9月19日(土) 13:00～13:45

場所: 外来ロビー



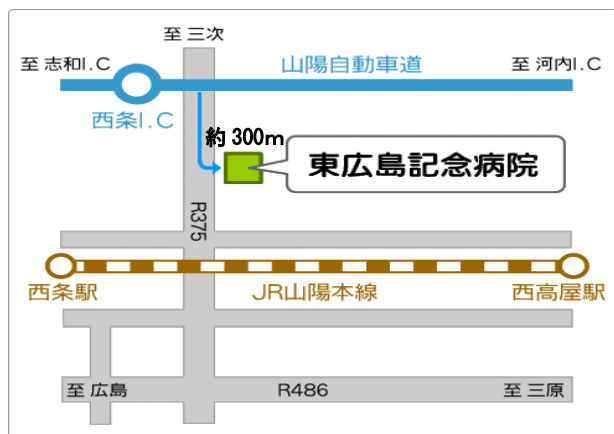
# 東広島記念病院リウマチ・膠原病センター 外来診療表

平成21年7月現在

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前 8:45～12:30  【予約制】	1診	山名征三	金	山名征三	岩橋	山名征三	岩橋
	2診	岩橋	佐々木	岩橋	佐々木	岩橋	金
	3診	金	古林	山名二郎	山名二郎	山名二郎	山名二郎
	6診	...	...	古林	古林	...	古林
	7診	...	...	...	...	...	黒瀬(第4)
	治験	全医師	全医師	全医師	全医師	全医師	全医師
	内視鏡	井上/斎/芹川	斎	角南	角南	金	井上
午後	2診	14:30～18:00 山名征三	14:30～18:00 古林	14:30～18:00 岩橋/古林	休診	14:30～18:00 金(肝臓外来)	14:00～17:00 山名二郎
	婦人科	14:30～17:30 高原	...	14:30～17:30 高原		14:30～17:30 高原	...
	内視鏡	...	...	...		山名	...

- 当院は待ち時間短縮のため午前中の診療は予約制となっております。
- 水曜日の午後は1・3週に限り、17:00～古林先生の診察となります。
- 救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

## 周辺地図



## ヤマナ会 関連施設

### 広島生活習慣病健診センター

〒739-0002 東広島市西条町吉行2214  
TEL 082-423-6662

### 通所リハビリテーション

〒739-0002 東広島市西条町吉行2214  
TEL 082-423-6661 (担当 上田)

### 銀山町リウマチ内科クリニック

〒730-0016 広島市中区幟町14-14  
広島教販ビル2F  
TEL 082-228-6661

## 発行 広報委員会

〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214

TEL 082-423-6661

FAX 082-423-7710

E-mail izika@hmh.or.jp

ホームページ <http://www.hmh.or.jp>

## 編集後記

梅雨も明け、今年も暑い夏がやってきました。おかげ様で広報誌『リウマチ・膠原病だより』を発行することができました。何かお役に立てれば幸いです。次回は10月に発行予定です。